



どうする



防災

2025 年 9 月号

和合町自主防災隊

「和合町災害時行動基準」が町内の全世帯に8月1日付けで配布されました。

「和合町災害時行動基準」は、災害が起こった時、どのタイミングで、どのように行動するか、が書かれたマニュアルです。今後は、このマニュアルに準じて行動をしてください。

- ☐ 先ず行うことは、命を守る行動です
姿勢を低くし、頭を守り、命を守る行動をしましょう
- ☐ 揺れがおさまったら、自宅の様子を確認
- ☐ 安全な場合は、黄色いタオルを玄関先に出しましょう
ドア、郵便受け、フェンスなど目立つところにくりつけてください
- ☐ テレビ、ラジオ、防災アプリなどで情報を確認しましょう
- ☐ 在宅が困難と判断（各自で判断）した場合は、第1次緊急避難場所を経由し、泉小学校グラウンド（緊急避難場所）に避難しましょう。
- ☐ 震度6弱以上の揺れがあった時、各部隊の防災倉庫に部隊が設置されます。
- ☐ 震度6弱以上で避難所が開設されます（泉小学校体育館）
- ☐ ご近所同士で積極的に声をかけ合うなどの行動を行ってください
(高齢者宅、小さなお子さんのおられるお宅等、また黄色いタオルが出ていないお宅)



これまでは、地震が起これば、先ず逃げる！！避難所へ！！急いですぐに行動を！！という事でした。これからは、この常識を変えてください。

災害が起こった時は、落ち着いて行動。

そして、状況を判断し、自分が何をすべきなのかを、自分で判断。

この時、注意すべきことは「正常性バイアス」「同調性バイアス」です

- ☐ このぐらいの地震は「正常範囲」で大したことないと思うのは誤りです
緊急時に、状況を過少評価して、正確な判断が出来なくなる場合があります
- ☐ 災害が起こっているのに、「自分は大丈夫」と平静を保とうとするのは危険です
避難の遅れに繋がります
- ☐ みんなが逃げていないので、私も逃げなくていいと判断するのは誤りです
集団の中にいると、周りの人に同調してしまいがちです。自分で正確な判断をしましょう。それぞれの環境、条件が違います。自分が危険だと判断したら、避難しましょう
- ☐ 自分だけで対応が難しい時は、誰かに助けてもらいましょう
そのためには、ご近所同士、声掛けができる関係を作っておきましょう

筆耕:防災コーディネーター 松山 美佐